



ティーンズの本棚

2023年 11月 第164号
(月1回発行)
半田市立図書館
tel 0569-23-7171
亀崎図書館
tel 0569-29-5060

本で知る世界の国々 「カナダ」編

広大な国土をもつカナダの総面積は 998.5 万km²で、日本の約 27 倍にも及びます。氷河地形が残るカナディアンロッキーをはじめ、美しい名峰や湖などが存在します。

レッド・フォックス カナダの森のキツネ物語

チャールズ・G.D.ロバーツ/作 チャールズ・リビングストン・ブル/画
桂有子/訳 福音館書店 (J480/0)



レッド・フォックスは、きょうだいの中で、群を抜いて強く、賢い赤ギツネでした。きょうだいが1匹また1匹と命を落とすなかで、レッド・フォックスは生き残り、たくましく成長していきます。やがて父となったレッドフォックスは、家族を守るために、数々の敵と困難に立ち向かいますが…。

カナダの大自然を舞台にした、動物たちの物語。

新しく入った本

フォグ 霧の色をしたオオカミ マルタ・バラツエーグ/作

すぎもと 杉本あり/訳 Naffy/イラスト 岩崎書店 (T973/ハ)



19世紀末のロンドン。川底から探した金品を売り、必死に生きていた13歳の孤児クレイは、町に来たサーカスがオオカミを公開すると聞き、一目見たいと思いました。クレイはサーカスに忍び込み、檻に入れられたオオカミ、フォグに出会いますが、酷い調教を目の当たりにし衝撃をうけます。自分の命に代えても、フォグを森へ返す計画を立てるクレイですが…。

悪口ってなんだろう 和泉悠/著 筑摩書房 (T801/イ)



「悪口」について、さまざまな角度から考察した本です。SNSなどで問題になっている誹謗中傷はもちろん悪いことですが、悪意からでなく、ちょっとした冗談のつもりで発した言葉が、言われた側にショックを与え、傷つけてしまうことがあります。どこまでが冗談で、どこからが悪口なのか、その境界線はどこにあるのでしょうか。人はどうして悪口を言うのか、その理由とつきあい方についても解説しています。

「本の森 (YA図書館を読む会)」 のオススメ本

14歳からの哲学 考えるための教科書

いけだあきこ 池田晶子/著 トランスビュー (T100/イ)



「哲学」と聞くと難しい分野だと思いがちですが、当たり前だと思っていることが本当はどういうことなのかを「考える」ことから始めてみませんか。「自分とは誰か」「友情と愛情」「恋愛と性」など、項目別に考えるきっかけを与えてくれます。物事について「覚える」のではなく「考えて」みましょう。

YA = Young Adultの略。10代の若い人をさす言葉です。「本の森 (YA 図書館を読む会)」では、半田市立図書館で2か月に1回、読書会を行っています。

9類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容(テーマ)によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。今月は「9類」の本を紹介します。9類には、小説や詩歌、日記、作家研究など、文学に関する本があります。

<萌えすぎて>絶対忘れない!妄想古文

みやげかほ 三宅香帆/著 河出書房新社 (T910/ミ)



「春はあけぼの…」で有名な『枕草子』。「推し」と「萌え」で読み解くと、作者の清少納言が、定子姫とのエピソードをつづった『推しブログ』に早変わり。清少納言の目を通して描かれる姫の可愛らしさや、悲しい最期について、わかりやすく解説されています。

とつきにくい「古文」の世界を、妄想して楽しむための本です。

夏目漱石、読んじゃえば?

おくいずみひかる 奥泉光/著 香日ゆら/漫画・イラスト 河出書房新社 (T910/ナ)



「夏目漱石」と聞くと、教科書に載っている作家で、なんだか難しいイメージを持っている人はいませんか。漱石のことが大好きな著者は、「吾輩は猫である」という作品は、全部読む必要はなく部分的に読んでも面白い、といいます。それぞれの作品の楽しみ方を紹介し、面白さや魅力の引き出し方を教えてください。

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です(インターネット登録が必要です)詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.handa.lg.jp/tosho/bunka/gejutsu/toshokan/toshokan.html>



半田市立図書館キャラクター
ブックんとしおりちゃん